

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	<p>運行系統名 ・愛本本線(愛本コミュニティタクシー)</p> <p>運行区間 ・愛本新下区公民館～イラッセ</p> <p>・ジャンボタクシーによる定時定路線運行 ・平日のみ運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</p> <p>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</p> <p>・令和7年4月、別地区から本系統に接続する系統を新設し、新たな利用者の確保を図った。</p> <p>・事業者との意見交換を必要に応じて実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題解決に向けた取組についての検討を行っている。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C <p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和7年度実績値:12,972人(同年目標値:14,800人) 【参考】当該系統利用者数 R4.10～R5.9 : 2,453人 R5.10～R6.9 : 2,970人 R6.10～R7.9 : 2,900人</p> <p>(2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額 令和7年度実績値:△2,260円/人(同年目標値:△1,664円/人以内) 【参考】当該系統財政負担額 R4.4～R5.3 : △2,512円/人 R5.4～R6.3 : △2,658円/人 R6.4～R7.3 : △3,041円/人</p> <p>(3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額 令和7年度実績値:△29,267,477円(同年目標値:△26,483,000円以内) 【参考】当該系統収支額 R4.4～R5.3 : △8,556,384円 R5.4～R6.3 : △10,110,669円 R6.4～R7.3 : △10,955,158円</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年と同程度となった。</p> <p>・一人当たりの財政負担額及び収支額についても、目標値を下回る結果となった。これには、近年の物価高騰による運行経費の増加が影響していると考えられる。</p> <p>・引き続き、乗降データを収集・分析し、利用実態の把握に努めるほか、事業者や地元自治振興会との意見交換、利用者へのアンケート等を実施し、路線の利便性向上と利用促進に向けて、現行のルートやダイヤの見直しも含め検討を行う。</p> <p>・地元の自治振興会とも連携し、公共交通の利用促進に向けた情報発信及びPRを継続的に実施する。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	<p>運行系統名 ・石田三日市線</p> <p>運行区間 (令和7年3月まで) ・にいかわ総合支援学校～黒部市役所 ・黒部市役所～黒部市役所 (令和7年4月から) ・犬山東～あお一よ ・あお一よ～あお一よ</p> <p>・通勤ターによる定時定路線型運行 ・平日のみ運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</p> <p>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</p> <p>・近年新たに整備された大型商業施設や市の施設を経由するよう令和7年4月からルート及びダイヤの大幅な見直しを行い、新規利用者の確保を図った。</p> <p>・ルート及びダイヤの見直しにあたっては、事業者だけでなく地元自治振興会とも連携して協議を行った。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C <p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和7年度実績値:12,972人 (同年目標値:14,800人) 【参考】当該系統利用者数 R4.10～R5.9 : 7,577人 R5.10～R6.9 : 7,233人 R6.10～R7.9 : 7,156人</p> <p>(2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額 令和7年度実績値:△2,260円/人 (同年目標値:△1,664円/人以内) 【参考】当該系統財政負担額 R4.4～R5.3 : △1,095円/人 R5.4～R6.3 : △1,389円/人 R6.4～R7.3 : △1,757円/人</p> <p>(3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額 令和7年度実績値:△29,267,477円 (同年目標値:△26,483,000円以内) 【参考】当該系統収支額 R4.4～R5.3 : △9,054,669円 R5.4～R6.3 : △10,046,548円 R6.4～R7.3 : △12,993,846円</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も減少している。</p> <p>・一人当たりの財政負担額及び収支額についても、目標値を下回る結果となった。これには、近年の物価高騰による運行経費の増加が影響していると考えられる。</p> <p>・見直し後の乗降データの収集・分析を行い利用実態の把握に努めるとともに、利用者や地元自治振興会の意見を聞きながら、必要に応じてさらなる見直しやバス停の改善等を検討する。</p> <p>・地元の自治振興会とも連携し、公共交通の利用促進に向けた情報発信及びPRを継続的に実施する。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	<p>運行系統名 ・田家野ー中山エリア</p> <p>運行区間 ・田家地区～三日市地区</p> <p>・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</p> <p>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</p> <p>・事業者との意見交換を必要に応じて実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題解決に向けた取組についての検討を行っている。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	<p><u>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数</u> 令和7年度実績値:12,972人 (同年目標値:14,800人) 【参考】当該系統利用者数 R4.10～R5.9 : 590人 R5.10～R6.9 : 626人 R6.10～R7.9 : 690人</p> <p><u>(2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額</u> 令和7年度実績値:△2,260円/人 (同年目標値:△1,664円/人以内) 【参考】デマンドタクシー財政負担額 R4.4～R5.3 : △2,371円/人 R5.4～R6.3 : △2,798円/人 R6.4～R7.3 : △2,719円/人</p> <p><u>(3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額</u> 令和7年度実績値:△29,267,477円 (同年目標値:△26,483,000円以内) 【参考】デマンドタクシー収支額 R4.4～R5.3 : △6,102,143円 R5.4～R6.3 : △5,649,622円 R6.4～R7.3 : △5,318,473円</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は増加している。</p> <p>・一人当たりの財政負担額及び収支額については、目標値を下回る結果となったが、デマンドタクシー全体では若干の改善傾向にある。</p> <p>・引き続き、乗降データの収集・分析や事業者・地元自治振興会との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努める。</p> <p>・地元への制度周知を改めて行い、利用者登録やデマンドタクシー利用のさらなる増加を図る。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 前沢－宮野エリア  運行区間 ・前沢地区～三日市地区  ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進策として、時刻表・ニューズレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</li> <li>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</li> <li>・制度の周知及び利用促進、新規利用者確保のため、地元町内会で利用の仕方についての説明会を実施した。</li> <li>・事業者との意見交換を必要に応じて実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題解決に向けた取組についての検討を行っている。</li> </ul>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和7年度実績値: 12,972人 (同年目標値: 14,800人) 【参考】当該系統利用者数 R4.10～R5.9 : 462人 R5.10～R6.9 : 172人 R6.10～R7.9 : 178人  (2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額 令和7年度実績値: △2,260円/人 (同年目標値: △1,664円/人以内) 【参考】デマンドタクシー財政負担額 R4.4～R5.3 : △2,371円/人 R5.4～R6.3 : △2,798円/人 R6.4～R7.3 : △2,719円/人  (3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額 令和7年度実績値: △29,267,477円 (同年目標値: △26,483,000円以内) 【参考】デマンドタクシー収支額 R4.4～R5.3 : △6,102,143円 R5.4～R6.3 : △5,649,622円 R6.4～R7.3 : △5,318,473円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年と同程度となった。</li> <li>・一人当たりの財政負担額及び収支額についても、目標値を下回る結果となったが、デマンドタクシー全体では若干の改善傾向にある。</li> <li>・引き続き、乗降データの収集・分析や事業者・地元自治振興会との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努めるほか、新規利用者確保のための地元への制度周知を行っていく。</li> </ul>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 ・村椿・大布施地区  運行区間 ・村椿・大布施地区～三日市地区  ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進策として、時刻表・ニューズレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</li> <li>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</li> <li>・制度の周知及び利用促進、新規利用者確保のため、地元町内会等で利用の仕方についての説明会を実施した。</li> <li>・事業者との意見交換を必要に応じて実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題解決に向けた取組についての検討を行っている。</li> </ul>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C <u>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数</u> 令和7年度実績値:12,972人 (同年目標値:14,800人) 【参考】当該系統利用者数 R4.10～R5.9 : 910人 R5.10～R6.9 : 911人 R6.10～R7.9 : 936人  <u>(2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額</u> 令和7年度実績値:△2,260円/人 (同年目標値:△1,664円/人以内) 【参考】デマンドタクシー財政負担額 R4.4～R5.3 : △2,371円/人 R5.4～R6.3 : △2,798円/人 R6.4～R7.3 : △2,719円/人  <u>(3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額</u> 令和7年度実績値:△29,267,477円 (同年目標値:△26,483,000円以内) 【参考】デマンドタクシー収支額 R4.4～R5.3 : △6,102,143円 R5.4～R6.3 : △5,649,622円 R6.4～R7.3 : △5,318,473円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は増加している。</li> <li>・一人当たりの財政負担額及び収支額については、目標値を下回る結果となったが、デマンドタクシー全体では若干の改善傾向にある。</li> <li>・引き続き、乗降データの収集・分析や事業者・地元自治振興会との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努める。</li> <li>・地元への制度周知を改めて行い、利用者登録やデマンドタクシー利用のさらなる増加を図る。</li> </ul>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 ・荻生地区  運行区間 ・荻生地区～三日市地区  ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和7年4月)や回数券の販売を実施した。</li> <li>・市広報(令和7年4月号)にて公共交通の利用者数や収支状況のほか、公共交通を利用することのメリット等に関する特集記事を掲載し、利用促進を図った。</li> <li>・事業者との意見交換を必要に応じて実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題解決に向けた取組についての検討を行っている。</li> </ul>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C <u>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数</u> 令和7年度実績値: 12,972人 (同年目標値: 14,800人) <b>【参考】当該系統利用者数</b> R4.10～R5.9 : 293人 R5.10～R6.9 : 299人 R6.10～R7.9 : 307人  <u>(2)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者一人当たりの財政負担額</u> 令和7年度実績値: △2,260円/人 (同年目標値: △1,664円/人以内) <b>【参考】デマンドタクシー財政負担額</b> R4.4～R5.3 : △2,371円/人 R5.4～R6.3 : △2,798円/人 R6.4～R7.3 : △2,719円/人  <u>(3)市内路線バス・コミュニティ交通の収支額</u> 令和7年度実績値: △29,267,477円 (同年目標値: △26,483,000円以内) <b>【参考】デマンドタクシー収支額</b> R4.4～R5.3 : △6,102,143円 R5.4～R6.3 : △5,649,622円 R6.4～R7.3 : △5,318,473円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年と同程度となった。</li> <li>・一人当たりの財政負担額及び収支額についても、目標値を下回る結果となったが、デマンドタクシー全体では若干の改善傾向にある。</li> <li>・引き続き、乗降データの収集・分析や事業者・地元自治振興会との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努めるとともに、地元への制度周知を改めて行い、利用者登録やデマンドタクシー利用のさらなる増加を図る。</li> </ul>